



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2024年7月号

- 新入職 循環器内科医からのご挨拶
- 退院前カンファレンスの改善 ～ご家族の不安解消を目指して～
ほか

病院・診療所のみなさまへ

いつも当院をご利用くださり、誠にありがとうございます。昨年度と比べて、熱中症による救急搬送患者数が多くなっており、気温の上昇とともにもっと増えていきそうです。このうえ新型コロナウイルス感染症の患者数も増加傾向で、医療機関においては様々な対応が必要となりますが、引き続き、皆さまと協力して地域医療を支えていければと考えております。どうぞよろしく願いいたします。当院の広報紙『城陽江尻病院だより』ですが、2024年7月号ができあがりました。今号の特集は、「新入職 循環器内科医からのご挨拶」と「退院前カンファレンスの改善 ～ご家族の不安解消を目指して～」となっております。ご一読いただければ幸いです。

新入職 循環器内科医からのご挨拶

本年4月に内科医として赴任しました江尻純哉です。遅くなりましたが、まず自己紹介させていただきます。

小学生のときに父が病気で他界し、姫路に引越してきました。母が仕事と子育てを両立し、父方母方の親族からサポートがあったおかげで、生活に困窮することなく大学にも進学することができました。平成9年に広島大学を卒業後、大阪府済生会中津病院で研修し、神戸大学の大学院を修了しました。その後は循環器内科に強みを持つ三木市民病院、北播磨総合医療センターで研鑽を積み、前勤務先の西神戸医療センターでは後進の指導にも尽力してきました。（右の写真は、西神戸医療センター退職時に絵の上手いスタッフからもらった額入りイラストで、一番手前が私です。）



専門分野は狭心症や心筋梗塞のカテーテル治療、下肢動脈など末梢血管のカテーテル治療ですが、専門分野だけでなく幅広く対応できる医師を理想像としておりました。これまで姫路で働く機会はなかったのですが、この度一成理事長から「そろそろ姫路に帰ってこないか？」と声掛けあり、色々悩みましたが心機一転することにしました。当院では循環器内科だけでなく、内科全般を幅広く診療しています。

西神戸医療センターでは救急科部長も兼任していらしたので救急医療に関わることが多く、地域医療の抱える問題点にも直面してきました。高齢化社会で増え続ける救急患者を地域の医療機関でどうカバーするか、姫路でも課題かと思います。一次救急診療を担う姫路市休日・夜間急病センター、当院を含めた複数の二次救急医療機関、そして三次救急医療機関であるはりま姫路総合医療センター、それぞれが十分に機能して役割を全うする必要があります。救急入院の多くを二次救急医療機関で受け入れるためには、それぞれの特徴を生かしてカバーし合わないといけません。当院は透析実施施設ですので、腎不全背景をもつ持つ患者さんの入院について、これまで通り積極的に受けていきます。またこれからは心不全を含め循環器疾患の患者さんを積極的に受け入れることとなります。「この症状は循環器？呼吸器？それとも・・・」と迷う患者さんも多いと思いますので、地域の診療所・クリニックの先生方もお気軽に相談いただければと思います。

一方で急性心筋梗塞や重症の心不全・呼吸不全の患者さんはまず専門医療機関にお願いせざるを得ません。また夜間休日は当院も体制面の問題で受けられないことがあります。高齢心不全患者さんが大幅に増加する「心不全パンデミック」が目前に迫っています。高齢者では入院が長期になりがちであることから、受け入れた医療機関がすぐ満床になってしまうことが予想されます。そこで早期に転院を受け入れる「後方支援」としての当院の役割も重要になってくると思います。かかりつけはもちろん、それ以外の患者さんでも地域連携室が中心になって転院調整を進めて、高次医療機関の負担を少しでも減らしていく必要があると考えています。はりま姫路総合医療センターなどの基幹病院には最後の砦として、本当に困ったときに頼れる存在であってほしいと思います。

当院で働き始めて3か月が経ちますが、スタッフはみな明るく活気があり、非常に仕事がしやすいです。姫路に恩返しをしたいという強い気持ちがありますので、地域医療に貢献できる現状に喜びを感じています。皆さま、これからもよろしく願いいたします。

退院前カンファレンスの改善 ～ご家族の不安解消を目指して～

当院の地域連携課では、患者さまやご家族が安心して退院を迎えられるような退院前カンファレンスを目指しています。一方で、コロナ禍に伴う面会制限が続いたことで、ご家族が患者さまの状況を知る機会が激減してしまい、退院に向けてのご家族の不安は以前よりもむしろ大きくなってしまっているのではないかと考えました。そこで、この仮説について調査し、結果に基づいて退院前カンファレンスの改善を行いましたので、ご報告させていただきます。

まず、どのような退院前カンファレンスが理想的なのかを改めて十分に検討し、その内容を踏まえたアンケート用紙を作成しました(右図)。そして、退院前カンファレンスに参加していただいたご家族を対象に、1回目のアンケート調査を行いました。結果は以下のとおりです。

城陽江尻病院地域連携課

アンケートのお願い

退院前カンファレンスにご参加いただきありがとうございました。

このアンケートは、ご参加いただいたご家族様のご意見をいただき、より安心して退院していただけるようにするための調査です。ご協力いただけましたら幸いです。

各質問の選択肢の中でもっとも当てはまる数字に○をつけてください。具体的にありましたら□の中へお書きください。

1、患者様の今の様子(治療経過・移動・排泄・食事・着替え・入浴や清拭状況など)がわかりやすかったですか？
1. よくわかった 2. わかった 3. あまりわからない 4. わからない

□

2、患者様の今の様子や知りたいことを聞くことができましたか？
1. できた 2. まあまあできた 3. あまりできなかった 4. できなかった

□

3-1、退院後どのような介護が必要かが理解できましたか？
1. できた 2. まあまあできた 3. あまりできなかった 4. できなかった

□

退院後に医療処置が必要な方は、問3-2の質問にお答えください。

3-2、退院後に必要な医療処置()を理解できましたか？
1. できた 2. まあまあできた 3. あまりできなかった 4. できなかった

□

4、退院前カンファレンスへ参加して、不安に感じていたことは解消できましたか？
1. できた 2. まあまあできた 3. あまりできなかった 4. できなかった

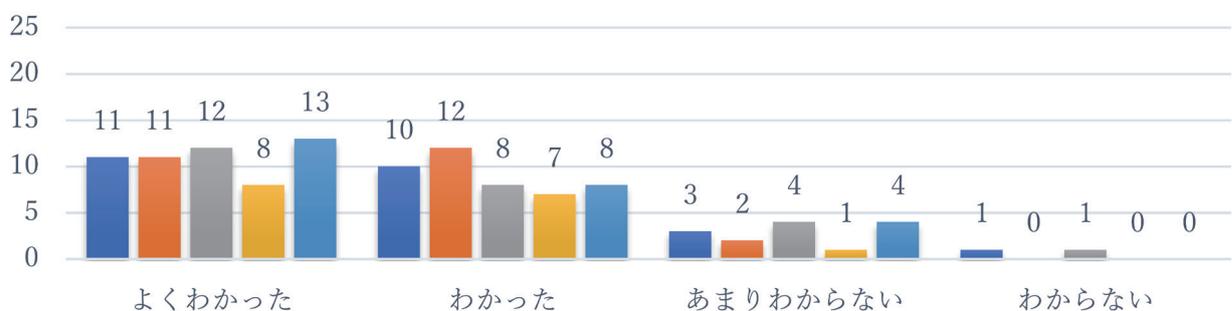
□

そのほか、ご意見・ご要望がございましたらお書きください。

□

ご協力ありがとうございました。用紙は、地域連携課職員へお渡ください。

1回目アンケートの結果

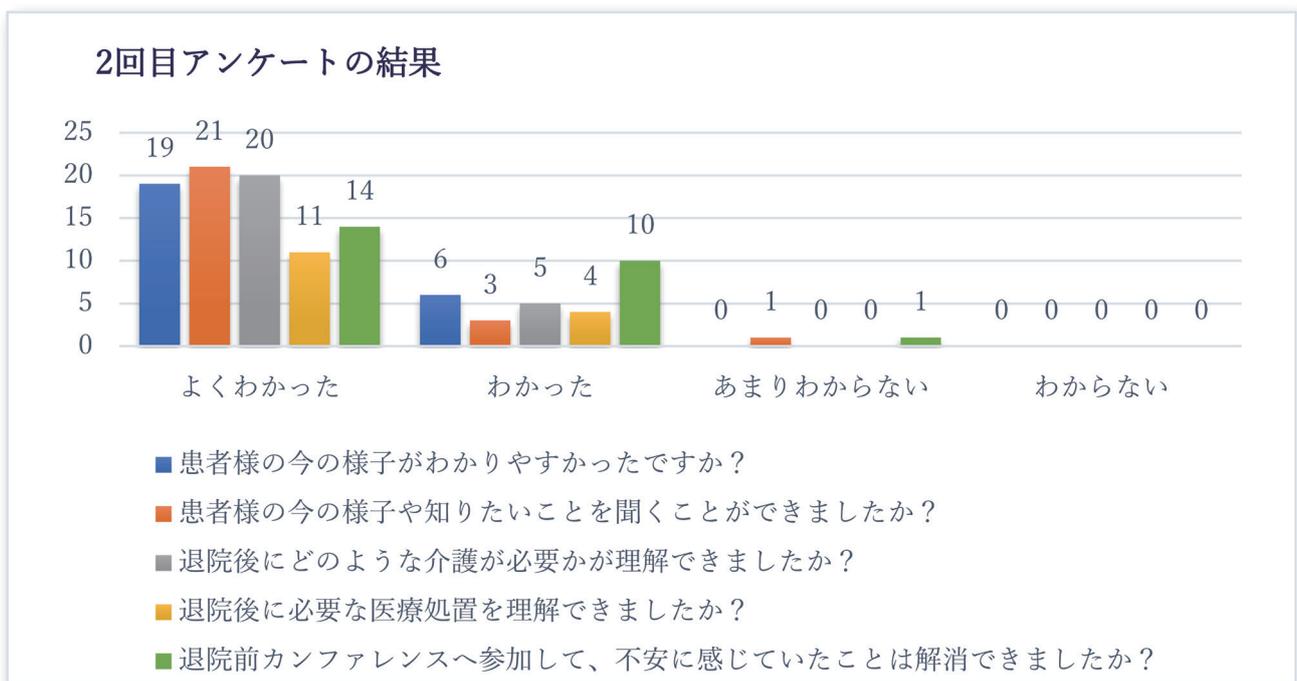


- 患者様の今の様子がわかりやすかったですか？
- 患者様の今の様子や知りたいことを聞くことができましたか？
- 退院後にどのような介護が必要かが理解できましたか？
- 退院後に必要な医療処置を理解できましたか？
- 退院前カンファレンスへ参加して不安に感じていたことは解消できましたか？

アンケートの結果から、退院前カンファレンスでの不安解消が不十分であると感じました。また、「患者様の今の様子」や「退院後に必要な介護」についての理解を促進することが、退院に向けての不安の解消に繋がるのではないかと考え、以下の取り組みを追加することといたしました。

- ご家族に退院前カンファレンスの日程相談をする際、「退院に向けて不安に感じていること」や「病院側に確認しておきたいこと」などを聞き取りする。それらについて回答を準備し、退院前カンファレンスにて共有する。
- 入院主治医からご家族への情報共有状況を調べ、必要に応じて入院主治医に追加の説明を依頼する。
- 入院前と比べて「ADL に変化がある場合」「食事形態に変化がある場合」「追加の医療処置が必要になっている場合」などは、事前に iPad で動画を撮影しておき、退院前カンファレンスに際して動画を供覧しながら説明する。

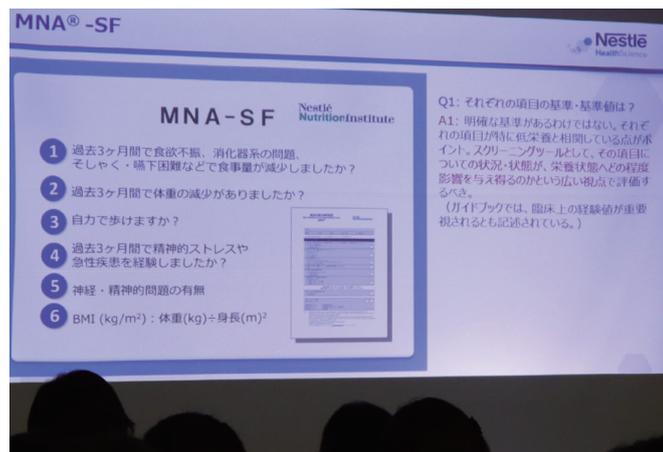
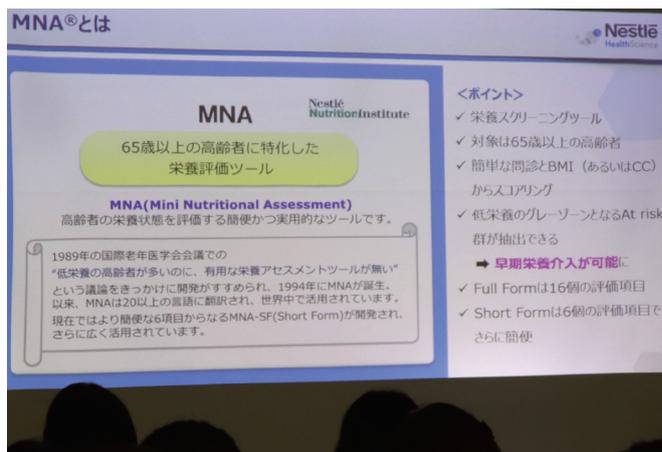
上記取り組みを開始してから 3 か月以上経過したのち、2 回目のアンケート調査を行いました。結果は以下のとおりです。



ほとんどの項目で改善がみられ、不安が解消されているように感じました。また、ご家族から「詳しく説明してもらいよかった」「丁寧に説明してもらった」「面談やカンファレンスなど徹底されている」「先生や看護師さんたちの連携がよく、いつも安心できました」といったコメントもいただきました。

今回の課題解決を通して、情報共有の徹底や工夫が大切であることを改めて認識しました。今後も上記の取り組みを続け、さらなる改善も検討しながら、患者さまやご家族の気持ちに寄り添っていきたいと思います。

栄養管理全体研修



2024年6月18日、栄養管理全体研修を行いました。診療報酬改定で、栄養管理体制の充実を図る観点から、栄養管理体制の基準の明確化が求められています。そこで今回の研修では、GLIM 基準による低栄養診断の流れと項目について学習しました。

消防訓練、七夕イベント



(写真左) 2024年6月19日消防訓練を行いました。災害時に適切な対応ができるよう、年に2回行っております。また、火災だけでなく水害に対しての訓練も行っています。

(写真右) 2024年7月24日、療養病棟で七夕会を行いました。皆で歌ったり、ゲームをしたりして楽しい時間を過ごしました。短冊に書かれた皆さまの願いごとが叶いますように！

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

➔ **0790-225-1231**（地域連携課）にお電話ください。
担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・マンモグラフィーのご依頼

➔ **079-225-1231**（放射線課）にお電話ください。

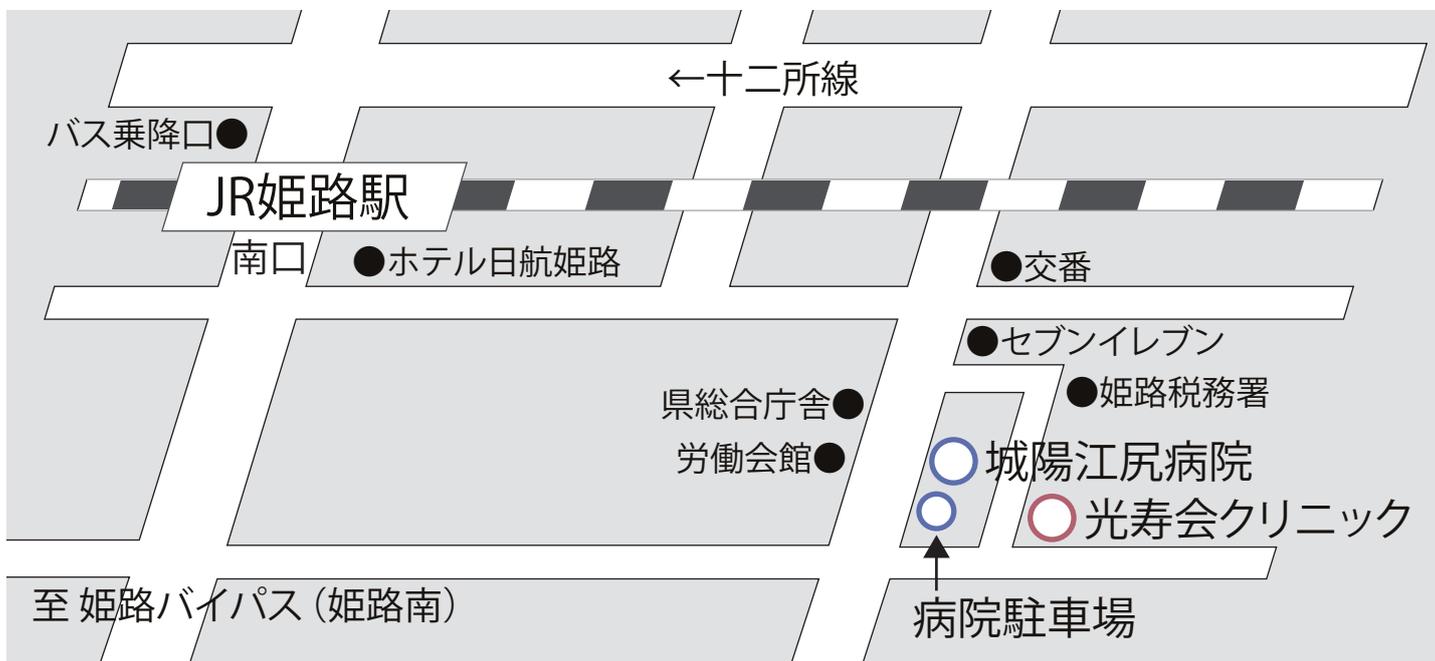
※ 受付時間は 8:30 ～ 19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279
 ホームページ：www.ejirihospital.or.jp
 代表 Tel：079-225-1231
 Fax：079-222-0154



EJIRI HOSPITAL
 城陽江尻病院